



中学部・高等部リレー



小学部趣向走



中学部趣向走



幼稚部リレー

無花果

No.171

平成28年7月23日発行
発行 秋田県立聴覚支援学校
秋田市上北手百崎
字諏訪ノ沢3番127

生きている波

校長 塚本 宏明



昭和三十四年度本校卒業の佐藤千代氏さん
のご家族から多額のご寄付をいただきました。
佐藤さんは、昨年本校を一人で訪れ、聾学校
時代のお話をたくさん聞かされて埼玉のご自宅に
帰られました。話を聞いていた佐藤さんの思いを、

す。生前いつも聾学校のことを話していたという佐藤さんの思いを、
ご家族の方々がご寄付というかたちで繋いでくださいました。佐藤さ
んのお気持ちへの感謝とともにご冥福を心からお祈りいたします。歴
史は生きている波です。行けば帰って、帰ればまた行く。佐藤さんの
思いは、五十年以上たつてまた波となつて聴覚支援学校に帰つてこ
られました。

一学期の始業式するとき、新しい学校を作っていく意味を子どもたち
も先生たちも一緒に考えていこうという話をしました。早速子どもた
ちは活動を開始しました。はじめての全校児童生徒が一堂に会しての
児童生徒会総会で、地震で被害を受けた熊本聾学校に応援メッセージ
を送りたい、学習発表会や運動会の名称を考えてみたい、全校幼児児
童生徒が集まって何か楽しいことを企画してみたい等の意見が出さ
れ、話し合いが続いています。子どもたちの意欲あふれる活動の波も、
校名変更の年につかり刻まれそうです。

中学部三年佐々木愛歌さんが、六月十八日に行われた秋田市中学校
総合体育大会開会式で堂々の選手宣誓を行いました。「仲間と今まで
磨いてきた己の心技体を信じ、一つのプレー、この瞬間を全力で戦う
ことを誓います」。誰も心に響く感動的な選手宣誓でした。交流を続
けている下北手中学校の生徒さんたちからは、激励のメッセージボー
ドが会場に掲げられました。愛歌さんの宣誓は、秋田市内中学生代表
のことばとして、交流の波となつて広がっていくようです。

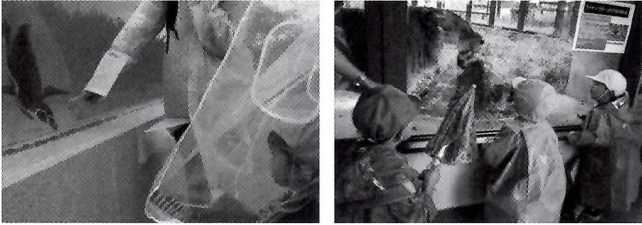
学部の行事コーナー

幼稚園部

あめ降りも また たのしからずや♡ どうぶつ園

三國谷 明子

行けるかな：無理かな：判断に迷うくらいの微妙な雨。リュックサックにのてる坊主、肩には親子で作ったしおりをさげ、集合した表情に決行を疑う余地なし。お目当ての動物に会えることに期待いっぱい。こうまでされたら行かなくちゃ！天気回復を願って、声高らかに「てるてる坊主」を歌い出発。雨が幸いした動物園は貸し切り状態。あつち向いてホイに愛きよう振りまいて付き合ってくれたペンギン、近づけた小さな手にもものすごい吸引力で応えてくれたゾウ、ガラス一枚越しに大きな口を開いて長く鋭い牙を見せてくれたライオン等々、動物たちも今日はサーブス満点。雨粒の記憶なんて一粒も残さないほど大満足の一日になりました。



小学部

ことばと心をつなぐことオリ

小玉 幸子

六月一日、今年度一回目のことばあそびオリエンテーリングを行いました。①校長先生への質問：お仕事のやりがいや喜び、大変なこと、他にやってみたいかった職業などについて、お話をしました。②先生たちの「五七五」から選句：「気持ち伝わる」「様子が浮かぶ」など、各自が良いと思つた理由も説明しました。③グループのキャッチフレーズ：メンバーの名字の頭文字から文をつなげ、今年度の合い言葉を作りました。どのグループも、子どもらしくユニークにまとめていました。④いろいろなチームで「いいことオリを⑤がく楽しもうね」「⑥いことオリを⑦さき、⑧とう、⑨ながと⑩とオリは⑪レンドと⑫なかま外れないようにがんばろう」⑬だま、⑭じわら、⑮かじま⑯あことオリを⑰はじめよう⑱しんをもつて」⑳さき、㉑たけやま、㉒ん



中学部

新しく刻まれた 人生の一ページ

中学部三年 佐々木 愛歌



「宣誓 我々選手一同はこれまで指導し見守ってくれたすべての方々への感謝を胸に互いに励まし合い、厳しい練習を乗り越えてきた仲間と、今まで磨いてきた己の心技体を信じ、一つのプレー、この瞬間を、全力で戦うことを誓います」

宣誓し終えた途端、会場からは切れんばかりの拍手が沸いた。今まで張りつめていた緊張がほどけ、「ああ、成功した」という達成感を感じたと同時に胸の中から熱いものがこみあげてきた。

今回の選手宣誓は二十七年に一回しかできないという大変貴重な経験だと聞き、プレッシャーを感じたが、無事に終える事ができてほっとした。それは多くの方が協力してくださったからこそ成功だと思ふ。その人たちに感謝を伝えたい。ありがとうございました。



高等部

職業ガイダンス

刈田 尚子

六月に実施した高等部実習週間に向けて、働く上でのマナーについての意識を高める目的で、職業ガイダンスを行いました。昨年度に引き続き、講師として友愛ビルサービス株式会社からお二人来ていただきました。

模擬朝礼、社訓（仕事をする上で大切なこと）の紹介の他に、実技として、入室の仕方、清掃に必要なタオルの使い方、ファイルの仕方などを丁寧に教えていただきました。特に、ファイリングにおいては紙の折り方、穴の開け方など、日頃気になっていたことを基本から学ぶ機会となりました。今回学んだことを実習中のみならず、生活習慣や動作として、しっかりと身に付けてほしいと思っています。



寄 宿 舎

一人一人のすてきな力

佐々木 なおみ

今年度の寄宿舎は、小学部六年生の藤原心華さん、高等部一年生の齋藤昌哉さんを新入舎生に迎え、小学部五年生から高等部専攻科までの九名でスタートしました。

寄宿舎では、上北手児童館の利用、秋田大学手話サークルとの交流、先輩と語る会等、様々な人々と交わる力を高めていくことができるよう余暇活動の充実にも努め、取り組んでいます。上北手児童館の利用は、昨年度から小学部生対象に、二、三名のグループで出かけています。ドッジボール等のスポーツ、簡単な手話を交えてのおしゃべり等を通して、お友達も増え、「楽しかった」「今度はこの手話を教えたい」等の感想も聞かれます。これから

も様々な行事を通して、一人一人のすてきな力をさらに育んでいきたいと思えます。



運 動 会

燃える魂

赤組応援担当 加藤 智美

今年も、団長を中心にエールやダンスを考え、練習を重ねて当日を迎えました。

わたしが一番大変だったことは、ダンスを考えることとみんなをまとめることでした。応援団長をやって「今まで先輩たちも、このような苦労を超えて頑張ってきたんだな」と感じました。みなさんの支えがあったので、みんなと運動会を楽しめました。みんな、ありがとう。(高二 木村明日香)

苦労を乗り越えて団結した赤組「魂」の今後の活躍に期待しています。

最後の応援合戦

赤組キャプテン

高等部専攻科二年 村上穂乃香

私は、応援合戦の練習のとき、小学部の後輩にダンスを教えるのを頑張りました。ダンスの練習では、みんなで動きを合わせるところが苦労しました。

本番では、力を合わせて無事に発表を終えることができました。私にとって、最高の運動会になりました。



永遠に羽ばたけ我らの翼

白組応援担当 相澤 晶

白組が披露したエールやダンスは、応援団長の拓史さん、キャプテンの葵さんを中心として、メンバー全員で積極的に意見を出し合いながら作り上げました。見ている人に「楽しい」「カッコいい」と思ってもらえることを考えながら、細かいタイミングを何度も練習しました。練習を進めていく中で、仲間と団結していったことは、とても貴重な体験になったと思います。

今年、高等部として最後の運動会で、私はキャプテンを務めました。一番印象に残ったのは、応援合戦です。本番の前にいろいろなトラブルが起こり、キャプテンとしてチームをまとめるのに、とても悩みました。しかし、それを乗り越えて、本番まで練習しました。

チームの絆

白組キャプテン

高等部三年 小玉 葵

本番では、失敗したところもあり、負けるんじゃないかと不安になりましたが、結果は白組の勝ちでした。今まで練習した成果を出せたので、とてもうれしかったです。苦労が報われた瞬間でした。



児童生徒総会

One for all, all for one.

勝田 しのぶ

小学部四年から専攻科二年までのメンバーが合同で行う「児童生徒総会」を、今年度新しく開くことにしました。中・高生徒会執行部からの早速の提案は、「全校レクリエーション」「熊本豊学校への応援メッセージ」「運動会や学習発表会の名称変更」。賛成か反対かの意見を出し合いました。初めての話し合い活動で少し緊張しながらも、一人一人が自分の意見を伝えたり、先輩や後輩の思いを理解し合ったりすることができました。自分たちの学校のために、みんながひとつのゴールに向かって動き始めた瞬間でした。



プールの清掃

一致団結

季子 康太

六月八日(水)にプール清掃を実施しました。今年度は、全校を縦割りのグループにした運動会の組で活動しました。初めての試みでしたが、中・高等部の生徒が小学部の児童に掃除のやり方を教えるなど、学部を越えて協力する姿が見られました。プール清掃を通じて、全校の絆がより深まる一日となりました。



新入生の紹介

幼稚園

幼稚園うめようちびへ

幼稚園うめ一組担任
三國谷 明子

乳幼児教室では、たまに顔を合わせることもある三人でしたが、一日いっぱい三人でいろんなことをしながら過ごすのは初めて。後ろの席のお母さんに見守られながら、力を合わせて小さなチャレンジをコツコツ積み重ねています。来年の今頃には、来ちよびりたくましく成長していることが期待されるホープたちの歩みに乞うご期待！



幼稚園うめ二組担任

大山 万里子

一足先に幼稚園に入学したたくやくんのもとに、新しい仲間が二人加わりました。歌とダンスが大好きなみずきさんと、お散歩するのが大好きなこうくんです。幼稚園での毎日は刺激がいっぱい。たくさん見て、聴いて、触って、遊んで、心も体もグングン成長中の三人が、これからどんな活躍してくれるのか、とても楽しみです！



中学部

先輩を見習って

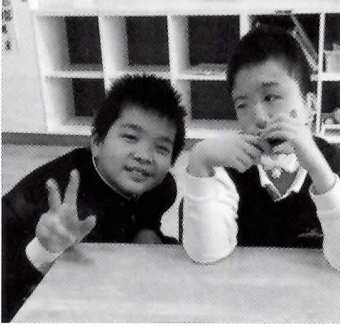
中学部一年一組担任
鈴木 亜希子

聴覚支援学校中学部として、初の新生となった拓己さん。学生服も少し大きめで、初々しさが漂っています。そんな拓己さんが目標としているのは「自分より先に生まれた人の話をよく聞くこと」「自分から先に挨拶をすること」です。「先話」という造語の学級目標を作り、日々進んでいます。

新しい環境で新しい挑戦を

中学部一年二組担任
鷺谷 和

今年度中学部に入学した安田修利さん。はじめは大きく見えた制服姿もすっかり板につき、中学部生活にも慣れ、日課に沿って元気に過ごしています。中学部という新しい環境の中、どんどん新しいことに挑戦してたくさんの経験を積んでほしいと思います。



高等部

お互いを認め合って

高等部一年担任
小棚木 明子

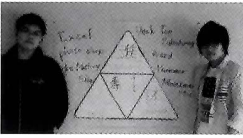
今年度、未来さん、邑哉さん、紘さんの三名が高等部の仲間入りをしました。はじける笑顔が魅力の未来さん、物怖じせず積極的に行動できる邑哉さん、何事にも一生懸命で、友達思いの紘さん。三人それぞれの良さを認め、お互いが苦手としていることは助け合いながら成長していつかほしいと願っています。

高等部専攻科

「進・技・体」

高等部専攻科一年担任
季子 康太

高等部専攻科一年は、情報デザイン科の赤坂弥風さん、佐々木廉さんの二名が在籍しています。立派な社会人を目指して日々の学習や職場実習を積み重ねています。学級目標である「進・技・体」に込められた思いのように、たくさんのことを経験し、技術と体力を高め、進路決定に向けて一歩一歩前進してほしいと思います。



新しい発見を

PTA会長 深澤 美紀子

私たちが親となって何年もたちますが、日々の生活の中には、まだまだ新しい発見がたくさんあふれています。思い返してみると、その多くがこどもについてのことでした。初めて「行ってきました」と言って登校した日。学校での出来事をいろいろと教えてくれた日。友達と遊びに行つて、いつもより少し遅く帰ってきた日。子どもの日々の成長に気づくことはできなくても、ふとした瞬間に実感することはたくさんあったはずであり、成長は、今もまさに進んでいます。

PTA活動は、そんな子どもたちと一緒に成長することができ、また、成長を発見することができる一つの機会ではないでしょうか。子どもたちを社会へと送り出す役割を担う活動として、皆さんと一緒に新しい発見を楽しんでいきたいと思えます。よろしくお願いたします。

お知らせ

十一月二日(水)に、かがやきの丘三校学校公開があります。ぜひ、ご参加ください。

きこえとことば支援センターから

照井 真紀子

「きこえとことば支援センター」が設立されて三年目となりました。全県各地からご依頼を受けて、情報提供や研修会のお手伝いをさせていたいております。

難聴学級の設置校や、難聴のお子さんの在籍している学校、大学等で理解学習のお手伝いをしております。その他、在籍校の先生方の研修会等を通して、聴覚障害に対する理解啓発を進めています。

また、サテライト教室や聴覚支援学校において、教育相談、通級による指導も行っております。地域の学校に通う難聴のお子さんと関わりながら、担当の先生方へのサポートの充実を図っていきたく考えたいと思っております。



編集後記

今年度から、秋田県立聴覚支援学校として、新たなスタートを切りました。雙学校としての歴史の上に、また新たな歴史を築いていきたいと思えます。暑い夏になりそうですが、元気に有意義な夏休みをお過ごしください。